



ブルーダールは神奈フィルの応援マスコットです。

2017年5月20日発行
 発行・企画編集=神奈川フィルハーモニー管弦楽団事務局
 発行人・編集人=大石修治
 231-0004 横浜市中区元浜町2-13東照ビル3階
 電話 045-226-5045

Prelude

Published by KANAGAWA PHILHARMONIC ORCHESTRA © 2017

2017
 5 | 20 土

新シーズンが始まりましたが、神奈川フィルを代表するお二人にその意気込みを聞きました。

まずオーケストラの一体感を出すために心がけていることはありますか？

川瀬 もともとオーケストラは、指揮者以外はほぼ毎日一緒に生活しているようなものですよね。ですから全国の楽団それぞれ一体感を持っていると思いますし、その違いを感じるのが醍醐味です。僕としては、一人ひとりの情熱がほとばしる演奏をめざしたい。

石田 僕の場合は、後ろ姿を見てもらうということですね。自分の弾いている姿でみんなの気持ちを高めるのも、コンサートマスターの仕事だと思っています。

オーケストラの演奏技術をレベルアップするためには、何が必要でしょうか？

川瀬 常任指揮者という初めての役割を担ってから、今年で4年目に入ります。最初の3年とはにかく一生懸命やるのみで、最近ようやく冷静に考えられるようになったと思います。次の3年では、もっと後ろから、壁際にいる人たちから、音のタイミングをつくってもらうことを心がけたい。これからどんな指揮者がきても、自分たちのタイミング、いちばん気持ちいいところはこれだというものを探していきたいです。

石田 僕は東京公演をやりたいと思っています。違う環境でやることは、いつもと違う緊張感をもたらしてくれますし、絶対オーケストラのためにもなります。

川瀬 何なら海外公演を目標にしてもいいかもしれません。たとえば5年後に行くぞと決めれば、モチベーションにもつながりますよね。

観客の皆さんに楽しんでもらうために心がけていることはありますか？

川瀬 神奈川フィルが先駆けだと思えますが、ロビーでのお見送りですね。ひと昔前はありませんでした。音楽家はステージの上で演奏するのが仕事なのだから…という時代もあった

<2017年新シーズン開幕> 情熱がほとばしる演奏を!



神奈川フィルハーモニー管弦楽団
 常任指揮者
川瀬賢太郎

神奈川フィルハーモニー管弦楽団
 ソロ・コンサートマスター
石田泰尚

BIG対談

から。観客の方にとっては演奏会で聴いた曲がその1日に影響を与えますよね。楽しい気持ちになったり、人生を考えるきっかけになったり…。そんな時さきまで演奏していた演奏家たちがすぐそこにいて、お客様が直接感想を伝えられれば、距離がぐっと縮まります。

石田 まったく同感ですね。

神奈川フィルは子どものための活動もしています。どのような影響を与えられるでしょうか？

川瀬 できるだけ早くオーケストラに出会ってほしいと思います。生活の中に音楽がそんな人にとっては、最初に学校の「勉強」で音楽と出会ってしまうわけです。神奈川フィルを通して早く出会えれば、音楽を職業に、人生のパートナーにと思うかもしれない。音楽が人生を豊かにしてくれると思います。

石田 どんな本番でも全力でやっています。音楽に興味がない子どもたちにも、少しでも何かを感じてもらえるように…。楽しかったな、いつか聴きたいな、と思ってもらえたら嬉しいかな。

神奈川フィルの地域オーケストラとしての役割は何だと思いますか？

石田 神奈川でも行っていない地域がまだあるわけです。神奈川フィルの存在を知らない人も多いと思います。そういう人たちをなくしたい。だから地域の活動と神奈川フィルのPRは大切ですね。どんどん知られるようになってお客様も増えて…そうすると僕たちプレイヤーのテンションも上がるしね。

川瀬 神奈川フィルを知ってもらうには、演奏会以外での活動はいい機会ですね。野球の開幕に演奏したり、マリノスのファンファーレを吹いたり…。スポーツと文化が横につながってお互い盛り上げていくことが、地域を活性化していくことになるとと思います。

神奈川フィルのよさ、強みは何でしょう？

川瀬 風通しがいいですね。演奏者の皆さん、演奏会を楽しみにしてきちんと準備してくれる。わからないことも事前に直接聞いてくれたり、とにかく一生懸命です。何気ないことですが、とても大切な魅力のひとつだと思います。

石田 それはたぶん川瀬さんの人格でしょう。壁をつくらないから。何でも聞きやすいしオープンな雰囲気をつくっている。指揮者が近いところにいるということが、いいんだと思います。

お互いの最初の印象はどうでしたか？

川瀬 実は小学校のときに、ビデオで見ていたんです。佐渡さんが主役で、指揮者がどう本番をつくっていくかという教材のようなビデオでした。それに出演されていた石田さんは、ものすごくアグレッシブな人という印象です。見かけも怖い…。そのあとデビューコンサートで初めてお会いしたんですが、やはり怖かった。オーケストラ自体が怖かったですからね。その後6年ぶりの共演が決まったある日、僕が別のコンサートでみなとみらいの楽屋にいたら、違う場所にいらした石田さんがわざわざ挨拶に来てくださった。それがとても嬉しかったのを覚えています。

石田 6年ぶりに共演したとき、とんでもなく素晴らしくなったなと思いました。その日がきっかけで常任指揮者になりましたからね。すごく勉強してくるし、やりたいことが明確ですし、みんなを盛り立てるのが上手だし…。こちらも応えなきゃ、と思いますよね。

今年度のおすそめをあげてください。

川瀬 あえて僕が指揮する以外だとしたら、6月17日のカーチュン・ウォンですね。僕より若いですが、とにかく才能があって素晴らしい。同じアジア人として、ほぼ同世代の人がこれだけ活躍していることは、うらやましく思います。いいライバルの彼が、神奈川フィルをどういうふうに鳴らしてくれるのか、楽しみです。

石田 9月9日の外山雄三さん(神奈川フィル元音楽監督)は久しぶりで楽しみです。初めてお会いしたのはもう随分前のことなんですが、当初は厳しい人だと聞いていました。でも僕をすごく気に入ってくれた。まだ仙台フィルの音楽監督だったときのことで。外山さんとの出会いがきっかけで仙台フィルのゲストに呼んでもらいました。だからとても感謝しています。

インタビュー：事務局広報 田賀浩一朗

定期演奏会 みなとみらいシリーズ 第331回
7/8 土 14:00 横浜みなとみらいホール
 ●指揮=ユベール・スダーン
 ●ヴァイオリン=佐藤俊介
 ♪ モーツァルト / 歌劇「皇帝ティートの慈悲」序曲
 ♪ モーツァルト / ヴァイオリン協奏曲第5番「トルコ風」
 ♪ シューマン / 交響曲第2番
 料金：(全席指定) S¥6,000 A¥4,500 B¥3,000

定期演奏会 みなとみらいシリーズ 第332回
9/9 土 14:00 横浜みなとみらいホール
 ●指揮=外山雄三
 ♪ 外山雄三 / オーケストラのための「玄奥」
 ♪ シューベルト / 交響曲第7番「未完成」
 ♪ プロコフィエフ / 交響曲第5番
 料金：(全席指定) S¥6,000 A¥4,500 B¥3,000

特別演奏会 モーツァルト・ディスカバリーVol.2
6/27 火 15:00 神奈川県民ホール 小ホール
 ●指揮・お話=伊藤翔
 ●ピアノ・お話=久元祐子
 ♪ モーツァルト / 交響曲第33番
 ♪ モーツァルト / ピアノ協奏曲第9番「ジュノーム」
 料金：(全席指定) 一般¥3,000

ヨコハマ・ポップス・オーケストラ2017
7/29 土 14:00 横浜みなとみらいホール
 ●指揮=原田慶太楼 ●ピアノ=三船優子
 ●ヴァイオリン=石田泰尚 ●ヴォーカル=昆夏美
 ●司会=三遊亭王楽 ●神奈川フィル合唱団
 ♪ 映画「危険な月光」よりワルソー・コンチェルト
 ♪ 映画「スターウォーズ」よりメインテーマほか
 料金：(全席指定) S¥5,000 A¥4,000 B¥3,000